

イチ押しの大学はここだ！

全国684進学校の進路指導教諭が選ぶ

表A

面倒見が良い大学



ranking	name	place	point
4	国際教養大 宮城	秋田	106
5	明治大	東京	82
6	立命館大	京都	73
7	産業能率大	東京	59
8	福岡工業大	福岡	46
9	高知工科大 高知	高知	44
10	秋田県立大 秋田	秋田	42

無印：私立大学 国：国立大学 公：公立大学

ranking	name	place	point
11	昭和女子大	東京	41
12	国際基督教大	東京	40
13	近畿大	大阪	38
14	東京大 東京	東京	37
15	学習院大	東京	35
	津田塾大	東京	35
17	山形大 山形	山形	34
18	九州工業大 福岡	福岡	33
19	明治学院大	東京	31
20	富山県立大 富山	富山	30
	神奈川工科大 神奈川	神奈川	30

表B

就職に力を入れている大学



ranking	name	place	point
4	法政大	東京	125
5	九州工業大 福岡	福岡	91
6	福井大 福井	福井	72
	中央大	東京	72
8	産業能率大	東京	71
9	青山学院大	東京	68
10	近畿大	大阪	65

ranking	name	place	point
11	日本大	東京	58
12	東京理科大	東京	55
13	早稲田大	東京	51
14	一橋大 東京	東京	48
15	立教大	東京	47
16	福岡工業大	福岡	46
17	関西大	大阪	41
18	京都産業大	京都	38
19	慶應義塾大	東京	35
	大阪工業大	大阪	35

北海道・東北

ranking	name	point
1	明治大	30
2	中央大	17
	法政大	17
4	金沢工業大	16
5	東北大 15	15

関東・甲信越

ranking	name	point
1	明治大	305
2	法政大	90
3	金沢工業大	76
4	青山学院大	58
	産業能率大	58

近畿

ranking	name	point
1	立命館大	74
2	近畿大	37
3	大阪工業大	35
4	関西大	30
5	京都産業大	25

中国・四国

ranking	name	point
1	九州工業大 26	26
2	金沢工業大	19
3	明治大	16
	立命館大	16
	広島工業大	16

北陸・東海

ranking	name	point
1	金沢工業大	75
2	福井大 53	53
3	富山県立大 27	27
	明治大	27
5	愛知大	20
	中京大	20

九州・沖縄

ranking	name	point
1	九州工業大 65	65
2	福岡工業大	46
3	明治大	16
4	西南学院大	14
5	九州大 13	13
	中村学園大	13

無印：私立大学 国：国立大学 公：公立大学

新学期が始まりセンター試験まで4カ月を切りました。入試に向けて本格的な準備を始める時期です。入試スケジュールも動き出します。9月1日から来年行われるセンター試験の受験案内が配布され、9月末には出願、11月には推薦入試が始まります。

受験勉強に力が入りますが、同時に志望校を決めていくのも大きな課題になります。第一志望校は決まっていますが、実力相応校、スベリ止め校を決めなければなりません。今の受験生は現役で大学進学を希望する傾向が強くなっています。となると、受験校に合格すれば入学することになりますから、大学選びが大切になってきます。しかし、大学選びは迷うものです。そんな時に役立てたいのがエキスパートの意見でしょう。大学通信はイチ押しの大学について、全国の進学校およそ2000校の進路指導教諭にアンケートを行い、684校から回答を得ました。その結果を順に見ていきましょう。

まずは、さまざまな項目別に、イチ押しの大学を挙げてもらった結果です。5校連記で項目別に大学を記入してもらい、最初の大学を5ポイント、次を4ポイント・・・として計算しました。

上の表Aの「面倒見が良い大学」をご覧ください。トップは13年連続で金沢工業大です。進路指導教諭からも「個別指導だけでなく、卒業後につながる大学での学びを追求している」（秋田・県立高）、「基礎基本からしっかり教育し、教員に質問しやすい環境を作り、就職にも強い」（栃木・私立高）、「高校時代に学力が厳しい生徒でも4年後きちんと卒業し就職できている」（愛媛・県立高）などと高く評価されています。学習支援を中心とした教育への評価が高くなっています。

2000年から他大学に先駆けて数理工教育研究センターを設置しました。高校の数学・理科の復習から大学の専門領域で活用できる数理学習まで、個別学習指導が受けられます。それ以外にも各種教材、課外学習プログラムなどを提供しています。企画部広報課長の志鷹英男さんがこう話します。

「PBL教育の草分けであるプロジェクトデザインの授業を1995年から始めています。しかし、この授業を進めていくには数理や専門基礎力がないと授業を受けられません。技術者としてイノベーションを創出していくために、基礎基本はおろそかにできないのです。これをしっかり身につけることで、今後、目まぐるしく変わる技術革新にもついていけ、企業からも評価され、就職の良さにつながっているのでは？」

大澤敏学長の方針もあって、今は学生同士の得意分野の教えあいに力を入れています。理解を深めるにはディスカッションやプレゼンテーションより、人に教える方が身につくという考えからです。また、来年、建築学部建築学科の新設を申請中です。その他にも工学部電気電子工学科、環境土木工学科、情報フロンティア学部心理科学科のリニューアルも行う予定で、改革も積極的に進めています。

2位は東北大、3位は武蔵大、4位は国際教養大、5位は明治大でした。東北大については「比較的少人数教育で、学生の能力伸長に尽力

している」（埼玉・県立高）、「AO入試制度が定着し、やる気のある学生に質の高い教授陣が教えていること」（栃木・私立高）などの評価です。

3位の武蔵大は「ゼミの武蔵」と言われるほど、ゼミナール形式の授業で有名です。このゼミナールは少人数教育で、武蔵大は昔から実践してきました。進路指導教諭の評価もゼミと少人数教育についてが多くなっています。「ゼミ、学生センター、教員など、多方面から学生へアプローチして指導し、面談の機会も多い」（東京・私立高）、「学生一人ひとりに注視している点」（東京・都立高）などです。

表中、順位をアップさせた大学も少なくありません。福岡工業大は昨年の16位から8位へ、高知工科大は33位から9位、秋田県立大は

50位から10位、学習院大は56位から15位に躍進しています。面倒見を急に良くしたから順位が上がるわけではありません。今までも面倒見が良かったのですが、それが広く知られるようになってきた結果だと見られます。

次に表Bの「就職に力を入れている大学」を見てみましょう。トップは8年連続で明治大です。進路指導教諭からも「大規模な割に就職などの面で昔から親身な指導をしている」（神奈川・県立高）と評価されています。学生の就活サポートに力を入れていることで知られ、有名企業に強いのが特徴です。今年の就職先を見ると、みずほFG87人、損害保険ジャパン日本興亜51人、三井住友海上火災保険48人、三菱東京

秋になって、いよいよ受験勉強も本格化します。それに合わせて、大切になってくるのが受験校選びです。偏差値や就職先だけでなく、各大学の特徴を知って選びたいもの。それにはエキスパートの意見が一番。進学校の進路指導教諭に、イチ押しの大学を聞きました。

表C 教育力が高い大学

1	東京大	東京	701
2	京都大	京都	410
3	東北大	宮城	321
4	東京理科大	東京	166
5	国際教養大	秋田	145
6	大阪大	大阪	140
7	早稲田大	東京	120
8	慶應義塾大	東京	105
9	名古屋大	愛知	101
10	東京工業大	東京	86
11	国際基督教大	東京	81
12	九州大	福岡	74
13	筑波大	茨城	64
14	金沢工業大	石川	59
15	一橋大	東京	42
16	広島大	広島	37
17	北海道大	北海道	36
18	上智大	東京	34
19	同志社大	京都	32
20	武蔵大	東京	28
	立教大	東京	28

UFJ銀行45人など、学生に人気の金融に強いことが分かります。

2位は金沢工業大、3位は立命館大、4位は法政大、5位は九州工業大でした。また、ランキングには実就職率(就職者数÷卒業生数-大学院進学者数×100)が高い大学も多くなっています。卒業生1000人以上で今年、実就職率トップだった金沢工業大が2位に入り、2位で国公立大9年連続トップの福井大が昨年の10位から6位にアップ。5位だった大阪工業大が19位でした。地域別にみると、北海道・東北と関東・甲信越で明治大がトップです。北陸・東海では金沢工業大、近畿では立命館大、中国・四国と九州・沖縄では九州工業大がトップに立ちました。

表Cの「教育力が高い大学」のトップは11年連続で東大です。進路指導教諭の評価は「しっかりした学びを提供できる教授陣とそれを円滑にする施設の充実」(神奈川・私立高)、「予算が大きく、研究に力を入れ、スタッフが充実している」(静岡・県立高)などとなっています。また、評価の中に「研究のレベルの高さが教育のレベルに結びついている」(静岡・私立高)、「大学の教育力は研究力によってつくられる」(大阪・府立高)、「学術研究が充実していることが教育力にもつながると考える」(宮崎・県立高)などがありました。大学の使命は研究と教育、さらには社会貢献と言われますが、なかでも研究と教育が車の両輪に当たるほど重要です。進路指導教諭には「いい研究を行って、最先端の知を学生に教えるのが大学」という考えが根強いことの表れだと見られます。

表D グローバル教育に力を入れている大学

1	国際教養大	秋田	636
2	国際基督教大	東京	390
3	上智大	東京	373
4	早稲田大	東京	230
5	立命館アジア太平洋大	大分	214
6	立教大	東京	149
7	関西学院大	兵庫	122
8	東京大	東京	104
9	東京外国語大	東京	97
	立命館大	京都	97
11	神田外語大	千葉	90
12	広島大	広島	63
13	東北大	宮城	62
14	近畿大	大阪	59
15	青山学院大	東京	57
16	千葉大	千葉	56
17	同志社大	京都	52
18	東洋大	東京	51
19	筑波大	茨城	47
20	九州大	福岡	46

2位は京大、3位は東北大、4位は東京理科大、5位は国際教養大の順でした。

表Dの「グローバル教育に力を入れている大学」のトップは国際教養大です。2位以下に大きな差をつけました。「面倒見が良い大学」4位、「教育力が高い大学」「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」ともに5位、「小規模だが評価できる大学」で1位などとさまざまな項目で評価が高くなっています。

04年に開学し、国際教養学部のみ単科大学です。授業はすべて英語で行われ、1年間の留学が必須です。1年次は全学生が外国人留学生と寮生活を送ります。進路指導教諭からも「学生に合わせるより社会が求めるレベルの内容を学生に教え、引き上げようとしている」(北海道・道立高)、「語学教育、国際教育の点でユニークな取り組みを行っている」(熊本・県立高)などと高く評価されています。2位は国際基督教大、3位は上智大、4位は早稲田大、5位は立命館アジア太平洋大でした。

表Eは「研究力が高い大学」です。トップは3年連続で東大、2位が京大で、この2校が3位以下を大きく引き離しました。3位が東北大、4位が大阪大と続き、7位までが国立大でした。私立大はというとトップは8位の東京理科大で、次いで10位の近畿大、11位の慶應義塾大、13位の早稲田大の順でした。10年前には53位だった近畿大は、5年前に26位に上がり、今年は10位にまで伸びています。水産研究所のクロマグロの完全養殖、ウナギ味のナマズの販売など、大学の研究内容

表E 研究力が高い大学

1	東京大	東京	1,147
2	京大	京都	952
3	東北大	宮城	491
4	大阪大	大阪	247
5	東京工業大	東京	234
	名古屋大	愛知	234
7	九州大	福岡	116
8	東京理科大	東京	98
9	筑波大	茨城	97
10	近畿大	大阪	62
11	慶應義塾大	東京	59
12	北海道大	北海道	56
13	早稲田大	東京	42
14	広島大	広島	36
15	一橋大	東京	22
16	芝浦工業大	東京	20
17	九州工業大	福岡	19
18	信州大	長野	18
	金沢工業大	石川	18
20	千葉大	千葉	17

無印：私立大学 印：国立大学 印：公立大学

表F 改革力が高い大学

1	近畿大	大阪	343
2	立命館大	京都	271
3	東京大	東京	200
4	東洋大	東京	175
5	東北大	宮城	141
6	京大	京都	138
7	早稲田大	東京	124
8	明治大	東京	99
9	法政大	東京	86
10	広島大	広島	70
11	大阪大	大阪	64
12	千葉大	千葉	55
13	立教大	東京	46
14	九州大	福岡	43
15	国際教養大	秋田	41
16	筑波大	茨城	29
	千葉工業大	千葉	29
18	日本大	東京	28
19	岡山大	岡山	27
20	山形大	山形	26
	上智大	東京	26
	金沢工業大	石川	26

が分かりやすく伝わったことが順位的大幅アップにつながっています。

表Fは「改革力が高い大学」です。トップは2年連続で近畿大です。一般入試志願者数が4年連続日本一の人気大学です。今年、メインの東大阪キャンパスに、5つの建物からなる新校舎のアカデミックシアターが竣工しました。24時間オープンの自習室、従来とは異なるテーマ別の図書館など斬新なアイデアが盛り込まれています。この7年間に総合社会、建築、国際の3学部を新設していることも改革力の高い評価に結びついています。2位は立命館大、3位は東大、4位は東洋大、5位は東北大でした。

表Gは「小規模だが評価できる大学」です。トップは国際教養大、次いで武蔵大、国際基督教大、金沢工業大、会津大の順となりました。単科大学が多いのが特徴で、しかも理工系大学より文系学部の大学が多くなっています。文系学部では1学部当たりの学生数が多いのが普通ですが、小規模大学では少人数教育を軸に学生と教職員の距離が近いことで、手厚い教育を行っていることが評価されているようです。

表Hの「入学後、生徒の満足度が高い大学」のトップは東大、2位が京大、3位が東北大と旧帝大がトップ3を独占しました。4位は早稲田大、5位は慶應義塾大、6位が明治大の順です。難易度の高い大学が上位を占めています。合格することで、満足感が高くなると見られます。それだけではなく、やはり入学すると施設設備の充実、教員の顔ぶれ、

表G 小規模だが評価できる大学

1	国際教養大	秋田	266
2	武蔵大	東京	183
3	国際基督教大	東京	179
4	金沢工業大	石川	110
5	会津大	福島	87
6	成蹊大	東京	62
7	産業能率大	東京	56
8	都留文科大	山梨	54
9	一橋大	東京	53
	津田塾大	東京	53
11	明治学院大	東京	46
12	秋田県立大	秋田	44
13	高知工科大	高知	40
14	成城大	東京	36
15	神田外語大	千葉	35
	学習院大	東京	35
17	京都工芸繊維大	京都	34
18	九州工業大	福岡	33
19	神戸海星女子学院大	兵庫	30
20	立命館アジア太平洋大	大分	29

授業の種類が豊富、キャンパスが広い、大都市の中心にあつて交通の便がいいなど、大規模大学の強みを感じることがたくさんあることも大きいのでしょうか。

表Iは「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」です。トップは東北大、2位は東大、3位は東京理科大、4位は金沢工業大の順でした。私立大トップの東京理科大は「研究力が高い大学」では8位で、「教育力が高い大学」でも4位で、いずれも私立大トップでした。進路指導教諭の評価を見ると、「進級が厳しいがサポートもしっかりしている」(茨城・私立高)、「学内で勉強が本当に大変そうで鍛えられている」(東京・私立高)などです。東京理科大の山本誠副学長がこう話します。

「基礎、基本を大事にし、1年次にしっかり勉強しないと2年次に進級できません。1年次は演習の授業も多く、レポートもたくさん書かせます。戦前はもっと厳しく、4年での卒業率が5%という年もありました。もちろん、今は違いますが、できるまでやらせる方針で、学生は自主的に学んでいきます。大学院生や高学年の学生に相談できるシステムもあり、サポートもしています。こういった教育が、就職の良さにもつながっているのだと思います。企業からも『理科大の卒業生には外れがない』と言われる」

東京理科大の実就職率は卒業生3000人以上の大規模大学で3年連続トップです。

表J-1は「生徒に勧めたい国公立大学」です。国公立大トップは3年連続で東大、次いで京大、3位が東北大でした。トップ10は旧7帝

表H 入学後、生徒の満足度が高い大学

1	東京大	東京	364
2	京大	京都	265
3	東北大	宮城	183
4	早稲田大	東京	179
5	慶應義塾大	東京	167
6	明治大	東京	119
7	大阪大	大阪	84
8	名古屋大	愛知	69
9	北海道大	北海道	68
10	国際基督教大	東京	65
11	九州大	福岡	63
12	上智大	東京	59
13	青山学院大	東京	57
14	国際教養大	秋田	54
15	立教大	東京	52
16	筑波大	茨城	50
17	岡山大	岡山	49
18	同志社大	京都	46
19	東京理科大	東京	44
20	一橋大	東京	43

無印：私立大学 印：国立大学 印：公立大学

表I 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

1	東北大	宮城	242
2	東京大	東京	211
3	東京理科大	東京	159
4	金沢工業大	石川	136
5	国際教養大	秋田	110
6	京都大	京都	97
7	国際基督教大	東京	81
8	産業能率大	東京	58
9	大阪大	大阪	57
10	早稲田大	東京	55
11	北海道大	北海道	53
12	東京工業大	東京	49
13	神田外語大	千葉	48
14	慶應義塾大	東京	44
15	名古屋大	愛知	40
16	明治大	東京	39
17	武蔵大	東京	38
18	日本大	東京	35
19	九州大	福岡	34
20	筑波大	茨城	31

表J-1 生徒に勧めたい国公立大学

1	東京大	東京	1,119
2	京都大	京都	937
3	東北大	宮城	489
4	大阪大	大阪	273
5	東京工業大	東京	253
6	名古屋大	愛知	224
7	国際教養大	秋田	211
8	一橋大	東京	203
9	北海道大	北海道	168
10	九州大	福岡	144
11	筑波大	茨城	125
12	神戸大	兵庫	88
13	千葉大	千葉	64
14	横浜国立大	神奈川	57
15	東京外国語大	東京	54
16	広島大	広島	46
17	首都大	東京	45
18	金沢大	石川	32
19	岡山大	岡山	32
20	信州大	長野	27

表J-2 生徒に勧めたい私立大学

1	慶應義塾大	東京	878
2	早稲田大	東京	868
3	国際基督教大	東京	345
4	東京理科大	東京	258
5	上智大	東京	232
6	同志社大	京都	213
7	明治大	東京	208
8	立命館大	京都	104
9	立教大	東京	102
10	青山学院大	東京	73
11	金沢工業大	石川	71
12	中央大	東京	68
13	近畿大	大阪	65
14	関西学院大	兵庫	61
15	法政大	東京	59
16	立命館アジア太平洋大	大分	51
17	関西大	大阪	48
18	学習院大	東京	42
19	南山大	愛知	39
20	東洋大	東京	32

表K 生徒に人気がある大学

1	明治大	東京	460
2	早稲田大	東京	441
3	青山学院大	東京	251
4	立教大	東京	213
5	慶應義塾大	東京	183
6	東洋大	東京	179
7	法政大	東京	156
8	東京大	東京	152
9	京都大	京都	150
10	名古屋大	愛知	149
11	東北大	宮城	145
12	近畿大	大阪	143
13	神戸大	兵庫	140
14	立命館大	京都	133
15	九州大	福岡	127
16	関西大	大阪	126
17	日本大	東京	119
18	大阪大	大阪	118
19	上智大	東京	106
20	同志社大	京都	106

無印：私立大学 ■：国立大学 □：公立大学

大(北海道大、東北大、東大、名古屋大、京大、大阪大、九州大)7校と東京工業大、一橋大、公立の国際教養大です。難易度の高い大学が上位に来ていることが分かります。その後も筑波大、神戸大、千葉大など準難関大といわれる大学が続く、やはり難易度が高い大学の評価が高くなっているのが特徴です。

なかでも東北大は「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」でトップなど、東大、京大に続くのは東北大との評価になってきています。予備校の入試担当者は「文科大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が見込める国立大学法人を指定国立大学法人にしましたが、そこに東大、京大とともに東北大の3校だけが指定され、その効果も大きかったと思います。さらに今、高大接続改革が進められていますが、長年、AOや推薦入試を実施し、まさにそれにぴったりな入試を行っており、AOや推薦で入学する学生は第一志望で、入学後も頑張りますから満足度も高く、高校からの評価も高いでしょう」と話します。

表J-2の私立大トップは慶應義塾大、僅差で早稲田大が2位で、この2校が3位以下に大差をつけました。以下、国際基督教大、東京理科大、上智大、同志社大の順です。やはり難易度が高い大学が上位に来ています。国際基督教大は教養学部だけの単科大学ですが、教育の中身の評価の高さが、この順位になっていると見られます。

表Kの「生徒に人気がある大学」を見ていきましょう。トップは4年連続で明治大で、僅差の2位が早稲田大でした。この2校が3位以下を

大きく引き離しました。3位は青山学院大、4位は立教大、5位は慶應義塾大で、首都圏の私立大が上位を占めました。国公立大トップは8位の東大、次いで京大でした。

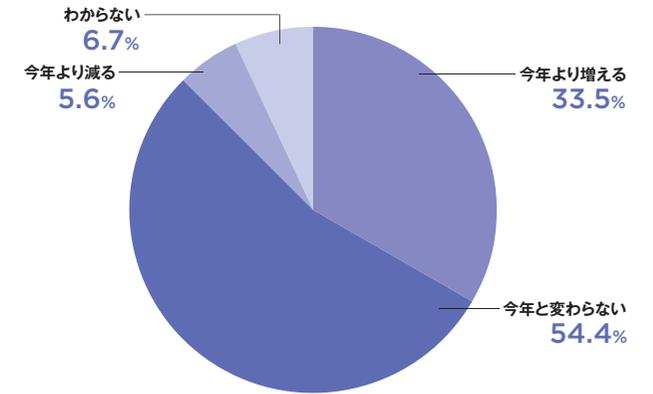
次にグラフを見ていきましょう。最初に今年2.2%志願者が増えたセンター試験の志願者について聞きました(グラフ1)。もっとも多かったのが「今年と変わらない」54.4%、次に「今年より増える」が33.5%で、あわせると9割近くになりました。来年のセンター試験志願者は今年以上になりそうです。

グラフ2の「国公立大人気」については、「前期の人気はさらにアップする」33.2%、「今年とあまり変わらない」32.9%、「前期の人気は少しアップする」20.3%でした。人気アップしそうでないのが後期で、東大、大阪大など、難関国立大で後期を廃止するところが増えているからだと言われます。

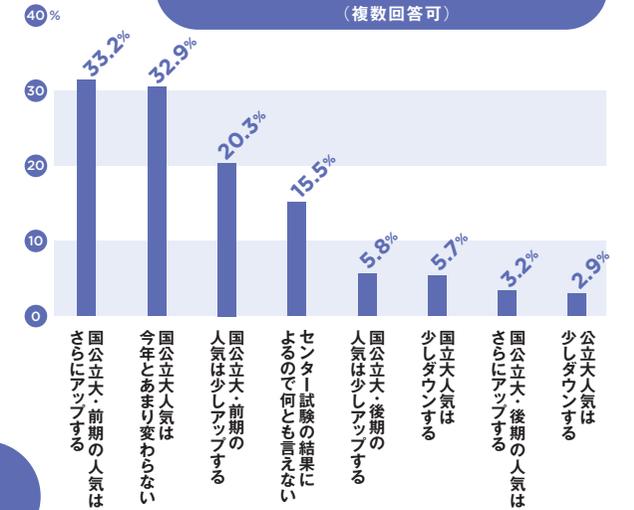
今年は国公立大志願者は0.2%減で、6年連続の減少。センター試験の平均点が文系でアップ、理系でダウンした影響でしょう。予備校の関係者は「来年入試でも国公立大人気は続きますが、来年から一橋大の法と社会学部が後期試験をやめるなど、後期を廃止する大学が相次いでいますから、国立大は1校受験で私立大を併願するケースが多くなりそうです」と話します。

グラフ3は「来年の入試動向」について聞いたものです。トップは昨年に続いて「現役での進学志向がさらに強くなる」の63.2%で、昨年来

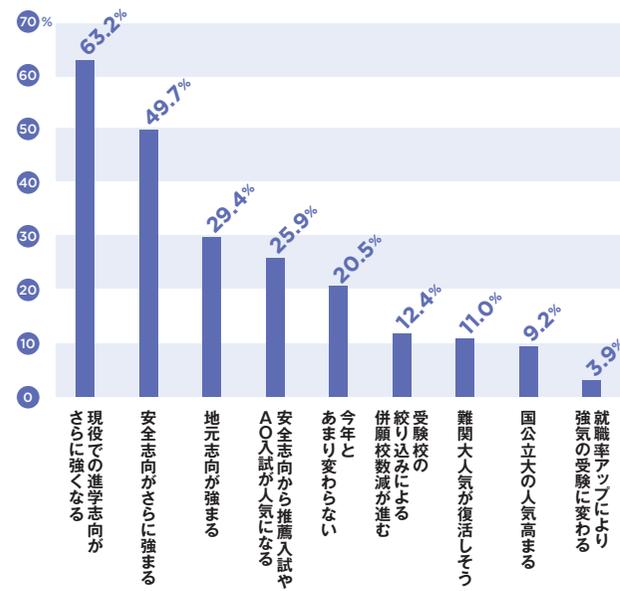
グラフ1 来年のセンター試験志願者数はどうなるとお考えですか？



グラフ2 来年の国公立大人気はどうなるとお考えですか？(複数回答可)



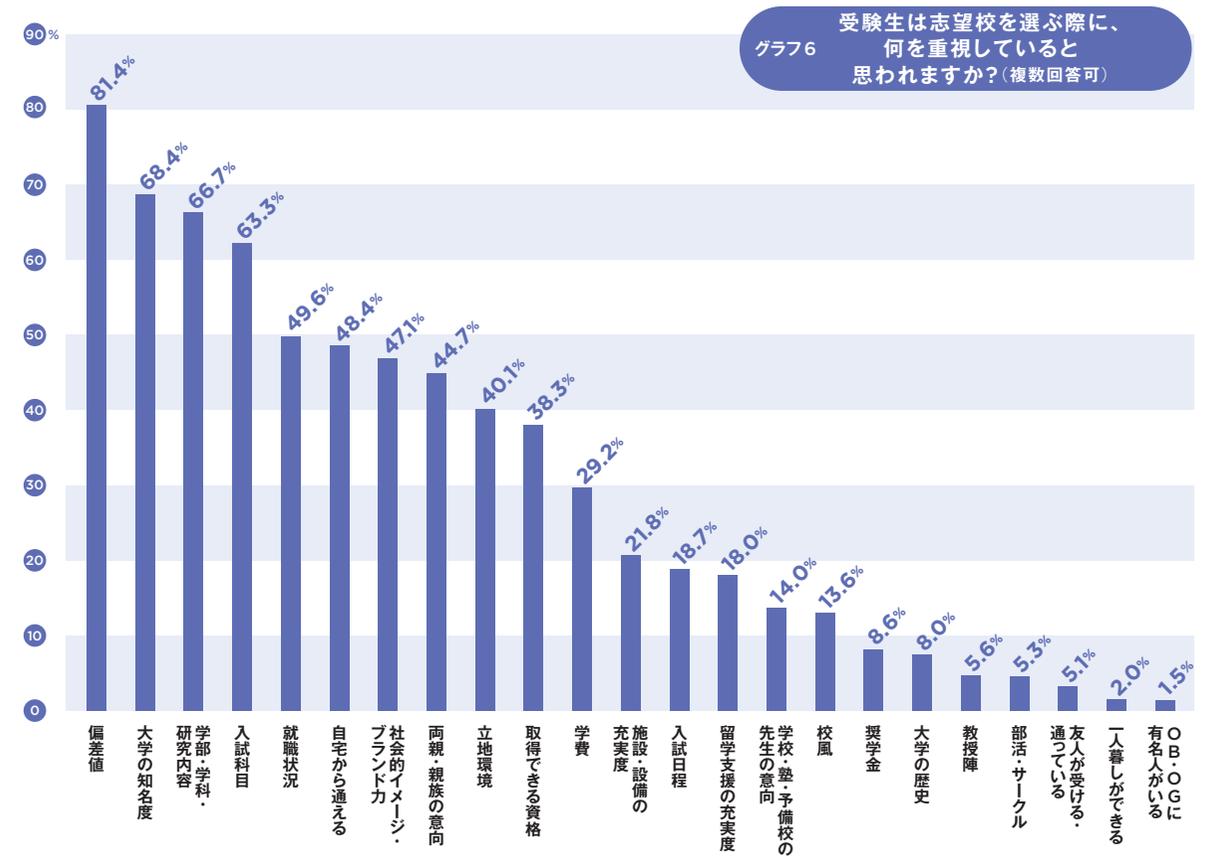
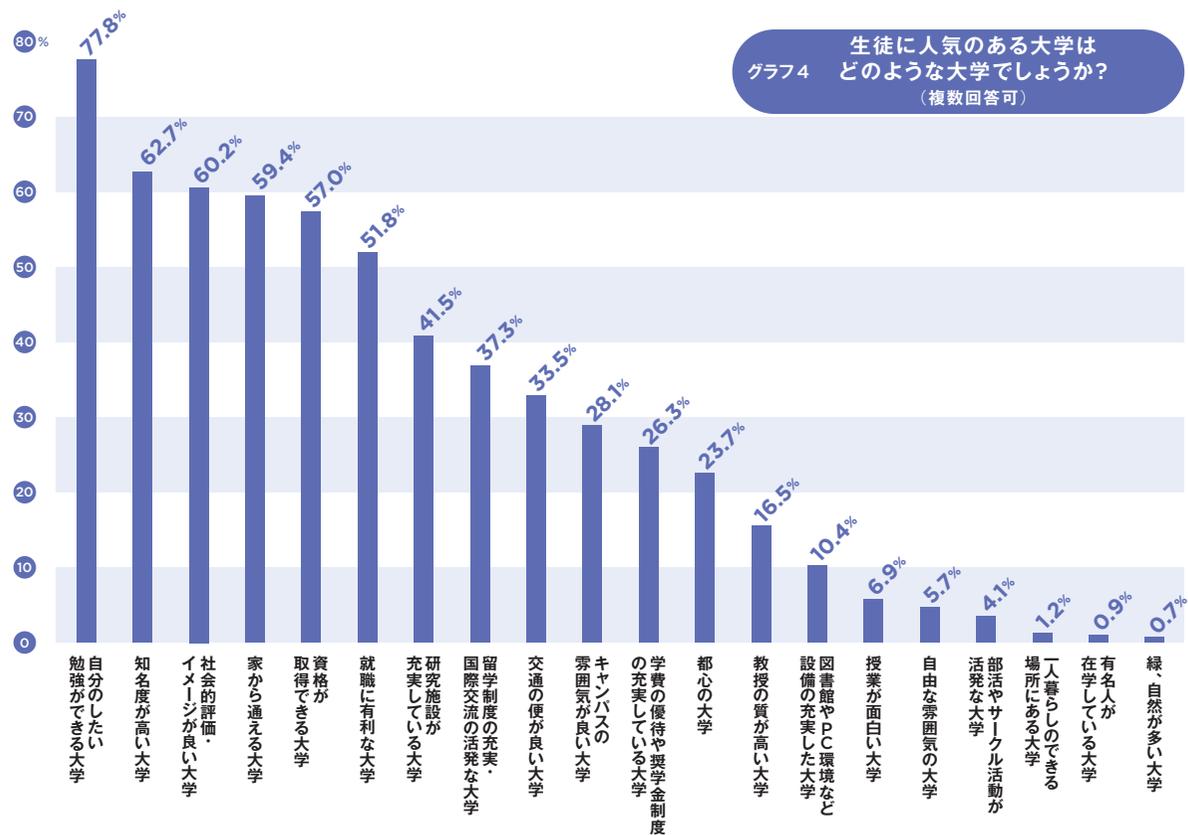
グラフ3 近年、「現役志向」「安全志向」「地元志向」の大学選びが強まっていますが、この傾向は来年はどうなるとお考えでしょうか？(複数回答可)



上回りました。次いで「安全志向がさらに強まる」49.7%、「地元志向が強まる」29.4%の順となりました。近年続いている入試トレンドである安全志向、現役志向、地元志向の「安・現・地」は、来年入試でも変わらないようです。

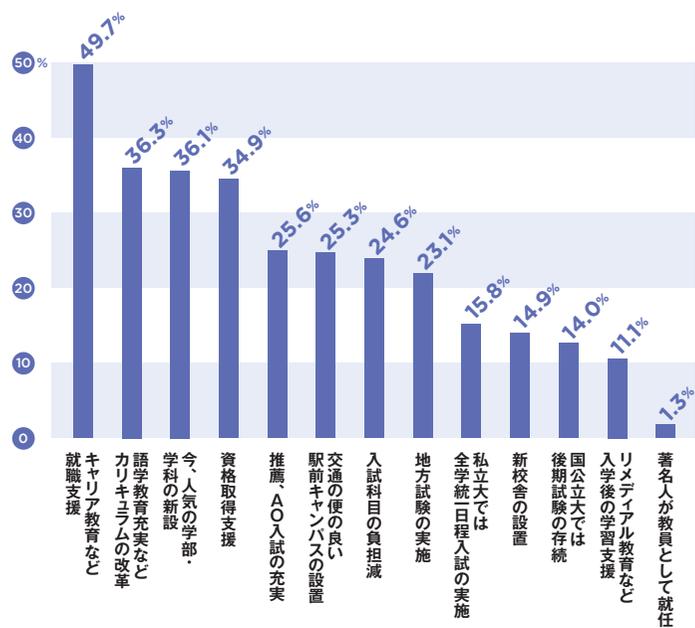
グラフ4は「生徒に人気のある大学」を聞いたものです。トップは「自分のしたい勉強ができる大学」が77.8%で、6年連続トップでした。2位は昨年の4位から上がった「知名度が高い大学」の62.7%、次いで「社会的評価・イメージが良い大学」60.2%でした。4位は昨年の6位から上がった「家から通える大学」の59.4%、以下「資格が取得できる大学」57.0%、「就職に有利な大学」51.8%の順で、ここまですべて5割を超えています。特に知名度があって、ブランド大学が人気であることが分かります。不況の時は就職関係の項目が上位に来ていましたが、実就職率が高い現在、大学名にこだわる傾向が出てきているようです。

次にグラフ5の「受験生に受け入れられる改革」について見ていきましょう。トップは「キャリア教育など就職支援」で49.7%、2位は「語学教育充実などカリキュラムの改革」



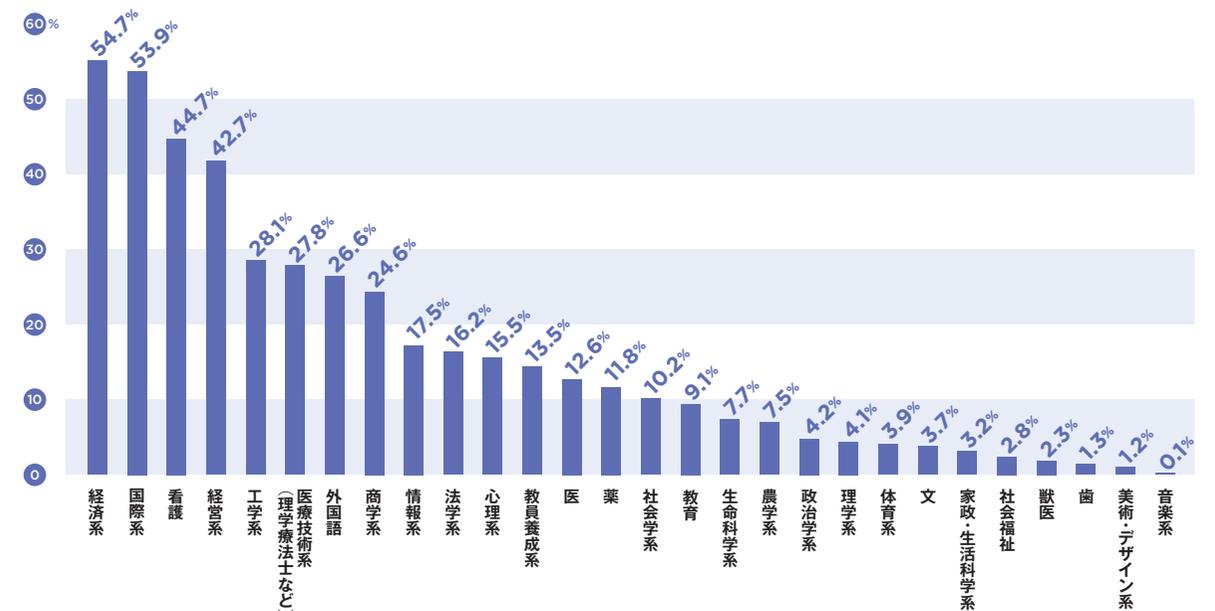
36.3%、3位は「今、人気の学部・学科の新設」36.1%でした。大学生の就職は売り手市場で就職は好調ですが、まだまだ就職支援への期待が大きくなっています。

大学は改革を実施し、受験生に魅力をアピールしようとしています。どういった改革が受験生に受け入れられているのでしょうか？
 グラフ5 (複数回答可)



次にグラフ7の「来年入試で人気になりそうな学部」について見ていきましょう。トップは経済系で54.7%。2年連続トップだった国際系は53.9%の2位でした。次いで看護、経営系、工学系、医療技術系、外国語の順となりました。文系人気が高いことがはっきりと分かります。来年入試も今年と同様、文系人気が高まり、理系人気が下がる“文高理低”になりそうです。

来年入試で生徒に人気になりそうな学部・学科系統はどこでしょうか？
 グラフ7 (複数回答可)



進路指導教諭のイチ押し大学は、卒業生の意見を中心にしています。昔に比べて卒業生が母校に立ち寄る頻度が高くなってきたことがあり、進学した大学の情報がこれまで以上に集まり評価につながっています。このエキスパートの忌憚のない意見を参考にしながら、志望校を決めていってほしいものです。